

為替市場

	Open	High	Low	Close	Change	
USD/TWD	31.440	31.440	31.302	31.340	-0.121	(-0.4%)
USD/JPY	155.88	156.82	155.35	156.37	+0.470	(+0.3%)
JPY/TWD	0.2012	0.2017	0.1996	0.2000	-0.0012	(-0.6%)
EUR/USD	1.1773	1.1814	1.1772	1.1810	+0.0036	(+0.3%)
USD/CNH	6.8793	6.8793	6.8513	6.8542	-0.0253	(-0.4%)

株式/商品市場

	Close	Change		Close	Change
台湾加権指数	35,413.07	+712.25 (+2.1%)	ダウ平均	49,482.15	+307.65 (+0.6%)
日経平均	58,583.12	+1262.03 (+2.2%)	S&P 500	6,946.13	+56.05 (+0.8%)
TOPIX	3,843.16	+27.18 (+0.7%)	WTI	65.42	-0.21 (-0.3%)
上海総合	4,147.23	+29.82 (+0.7%)	Brent	70.85	+0.08 (+0.1%)
DAX	25,175.94	+189.69 (+0.8%)	金	5,206.40	+50.60 (+1.0%)

債券市場

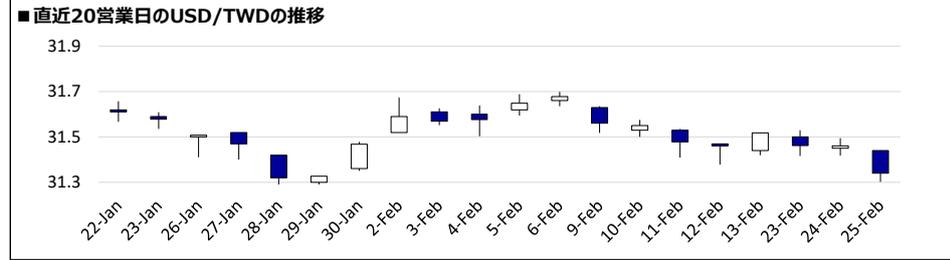
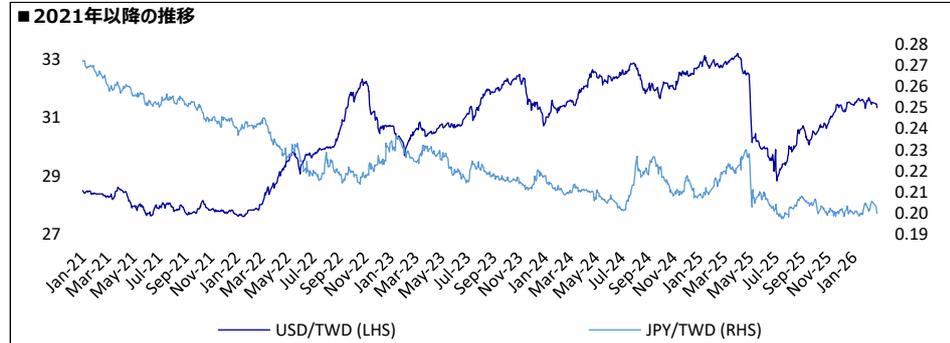
	2年債	5年債	10年債
台湾国債利回り	1.20% (+0.0bp)	1.34% (+0.0bp)	1.42% (-0.5bp)
日本国債利回り	1.22% (-2.0bp)	1.58% (-1.5bp)	2.14% (+3.3bp)
ドイツ国債利回り	2.05% (-0.0bp)	2.31% (-0.3bp)	2.71% (+0.2bp)
米国債利回り	3.47% (+1.0bp)	3.62% (+2.0bp)	4.05% (+1.5bp)

前日の市場動向

■USD/TWD
昨日のUSD/TWDは下落展開。31.440でオープン後、連日の台湾株の大幅な上昇に伴い、外資の買い越しが強まったことが台湾ドルを支え、31.300台前半でもみ合った。午後には続落し、一時31.302まで下落も、生保や輸入企業によるドルの押し目買い及び中銀の調節が入ったことで徐々に回復。最終的に31.340、前日比0.4%安でクローズ。株式市場における外資の買い越し額は413.02億台湾ドル。

■USD/JPY
昨日のUSD/JPYは上昇展開。155.88でオープン後、前日の高市首相の発言の火消しのような報道に155.35まで下落するも、政府が提出した日銀審議員候補を巡ってリベ派的な思惑が高まると円売りで反応し、一時156円台を乗せた。海外時間には続伸し、156.82まで上昇した後、上昇していた米金利が落ち着く展開にじり安で推移し、最終的には156.37、前日比0.3%高でクローズ。

台湾ドルの推移



本日の見通し

■USD/TWD 予想レンジ：31.200-31.400
本日のUSD/TWDは弱含み推移を予想。米関税政策に対する不透明感がドルの重しとなる可能性があるうえ、台湾株の上昇に伴い、外資による大幅な買い越しが進み、台湾ドルを支える要因となり得る。

■USD/JPY 予想レンジ：154.90-156.30
本日のUSD/JPYは弱含み推移を予想。日銀審議員候補を巡ってリベ派的な思惑が高まる中も、政策の方向性を与える影響が限定的と見られる一方、米政策に対する不確実性が高まることでドルの重しとなりやすい。

今週の予定

2/23 (MON)	米国12月製造業新規受注
2/24 (TUE)	米2月コンファレンスボード消費者信頼感指数
2/25 (WED)	米第1四半期アトランタ連銀GDPNow
2/26 (THU)	
2/27 (FRI)	米1月PPI、日本2月CPI、日本の1月鉱工業生産指数・小売売上高

(Source) Thomson Reuters, Mizuho Bank

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。当資料に記載された内容は、事前連絡なしに変更されることがあります。投資に関する最終決定は、お客さまご自身の判断でなさるようお願いいたします。当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず、無断で引用、複製することを禁じます。